

(様式1)

## 自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを 支えていくサービスとして、事業所独自の理念 をつくりあげている	・運営理念の一項目に掲げている	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践 に向けて日々取り組んでいる	・目に入りやすい廊下に掲げ、管理者、職員とも に共有し、実践に向けて取り組んでいる	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続ける ことを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に 理解してもらえよう取り組んでいる	・日ごろの面会時、家族会、運営推進会議等、機 会のある度に、話をさせていただいている	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をか け合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような 日常的なつきあいができるように努めている	・ご利用者との散歩の途中や買い物中に、顔見知 りになった方々へ、声を掛けている	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員とし て、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加 し、地元の人々と交流することに努めている	・町内会の夏祭りに参加有り。(見物)	○ ・もっといろいろな催しに参加ができる 様運営推進委員会等も活用し、情報の交 換を広めていきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>・運営推進会議等を利用し話し合っている</p>	<p>○</p> <p>・開設も1年近くになり、今後は外部との交流にも力を入れ取り組む計画をたてていきたい</p>
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>・初年度で、第1回目ということもあり、また、職員も未経験者が多く、しっかりと理解しているとはいえない ・運営者、管理者は理解している</p>	<p>○</p> <p>・今回の外部評価を機に、職員の意識の向上を図り、と改善方法を皆で検討し取り組んでいきたい</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		<p>○</p> <p>・今回の外部評価を、次回の運営推進会議にて報告し、意見を伺い、サービスの向上に生かしていきたい</p>
9	<p>○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・運営者は適宜に行き来している。必要に応じ、他職員への情報提供もなされている</p>	<p>○</p> <p>・新しい情報をいち早くキャッチしサービスの質の向上に取り組んでいきたい</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>・学習の機会は少なく、理解不足である。支援もできていない</p>	<p>○</p> <p>・現在の入居者は成年後見制度を必要とされる方はおられないが、新年度の勉強会に入れ、全職員のレベルの向上を図りたい</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・職員室に関連ファイルがあり、全職員十分把握している</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・十分な説明を行い、理解・納得をいただいている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・いつでもどこでも傾聴に、心がけている	○ ・「行きたい」「帰りたい」等即反映できないことも多いが、1回でも多く反映させていきたい
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・ご面会時や種々の電話連絡時、または家族会等いろいろな機会を利用し、報告をしている	○ ・定期的な「お便り」（施設の新聞）なども発行していきたい
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・ご面会時や種々の電話連絡時、または家族会等いろいろな機会を利用し、お聞きしている	○ ・例えば、居室移動のご希望など、すぐに反映できない場合もあるが、そのときにできる最善な方法で運営に反映させている
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・朝の申し送り時等に、聞く機会が多いが、不定期にも設けている	○ ・全職員が一同に会する機会が少ないので、全体的な意見の交換が難しい。新年度は月に1回でも会議の日を設け、サービスの質の向上をはかりたい
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・入浴時の人員補充等、勤務の調整に努めている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・お茶の時間等を利用し、談笑しながらの自己紹介等でいつの間にか「おなじみさん」となるような配慮はしている		
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・勉強会としては行っていないが、種々情報提供のファイルはあり、自己研鑽をしている ・新入職者にはマンツーマンでサービスの提供方法を指導している	○	・施設内外の勉強会が実施できるよう計画していきたい
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・できていない	○	・「グループホーム小野の里」の管理者と交流がありお互いのグループホームの見学や交流を図る準備をしている
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・業務から遮断された休憩室等がある	○	・管理者自身がストレスにならないよう十分に気配りをしていきたい
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・努めている。特に面接時に、状況を十分に把握するよう努めている		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・時間を十分に掛け、傾聴し、受け止めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・時間を十分に掛け、傾聴し、受け止めている		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・努めている。(必要に応じ、他施設の紹介等も)		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・まずは、見学に来ていただき、十分納得していただくよう努めている		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・ご利用者とは、同じ物を食し、同じ時間を過ごし、共同生活者のような存在だと思える。しきたりや、言葉使い、所作など教えていただく事は多い		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・食事時のサービスや掃除等、ご家族の様子や意向を確認しながら、ご協力をいただいている	○	・外出時の同行や催し会時の参加(見学だけでなく)等も含め、施設に来るのが楽しいと言っていたるように取り組んでいきたい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・ご面会時の環境づくり、電話の取次ぎ等、支援している	○	・疎遠がちなご家族とのより良い関係作りを支援していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・自由に出入りしていただいている（面会時間内）		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・努めている。難聴、認知症の周辺症状の程度等でコミュニケーションが取りにくい場合は特に、間に入りスムーズにコミュニケーションが取れるよう支援している ・車椅子を押しながらの語り合いの光景もあり	○	
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・併設の内科受診・往診等有り、その後の情報交換等をしている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・個別の食事提供や入浴の時間設定等、把握し、検討し、支援している	○	・まだまだ十分とはいえない。更に細かい配慮でご満足いただけるよう支援していきたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・ご本人はじめ、ご家族からの情報や入居時のサマリー等で把握に努めている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・現状で、でき得る限りの把握には努めている。申し送り時にも変化、気づいたことなど情報交換し把握に努めている	○	・状況は変化していくので、その時々の様子を把握できるように、観察力も高めしていきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・ご本人をはじめご家族からの聞き取り、種々の資料、全職員からの意見等を基に、介護計画を作成している	○  ・更に、より良いサービスのために模索・検討し、満足していただける計画作成に努めたい
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・入居時、6ヶ月後、介護保険更新時に見直しているが、不定期にも見直している	
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・個別に記録し、現状と見直しは2ヶ月ごとに行っている	
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・併設のグループホームへの訪問等で楽しんでいただいている	
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・協力体制はできているが、まだあまり機会がない	○  ・消防訓練を始め、各方面の方々との交流を深め、サービスの質の向上に努めたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・支援している。在宅を希望されたご利用者があり、各方面との連携でスムーズに在宅へ移行された	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
42	<p>○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p> <p>・運営推進会議にも常時参加していただき、情報交換している</p>		
43	<p>○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> <p>・支援している。特に歯科受診の場合、かかりつけ医をお聞きしてから適切な医療を受けている</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p> <p>・併設が内科であり認知症に詳しい為、早期にまた適時に相談でき、必要に応じ診断や治療が受けられるよう支援できている</p>		
45	<p>○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p> <p>・職員のうち二人が准看護師である。日常の健康管理や医療活用の支援は十分にしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p> <p>・入院1ヶ月が目安だが、柔軟に対応し、連携もしている</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> <p>・ご家族はじめ、主治医とも連携し「看取り」も視野に入れての介護計画を作成している。計画を全職員に提示し、共有している</p>	○	<p>・ご本人との話し合いはできていない。話し合いのできない場合が多く今後の課題ではあるが、各方面からの情報や助言をもとに検討していきたい</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> <p>・職員自身が後悔しないよう真摯に取り組んでいる</p>	○	<p>・今後も数多くの終末期の支援に関わっていく事が予想される。ご利用者関係の方々ばかりでなく、職員の満足も得られるようなターミナルケアに努めたい</p>



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ 移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者 間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替 えによるダメージを防ぐことに努めている	・馴染みの家具や食器等を御持参いただき、自分 の部屋（家）として違和感のない様、ご家族にお 願いしている。（ご位牌の持ち込みもあり）	○	・昼の生活がベッドに変わったご利用者 がほとんどで、すぐには馴染めないとも 思われるが少しでもダメージを防ぐよう 努めていきたい
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるよ うな言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り 扱いをしていない	・一人ひとりの生活暦や生活等を把握し、丁寧 語・尊敬語・謙譲語を駆使し対応するよう努めて いる ・個人記録等は常時職員室に保管し、職員室で記 録するようにしている		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけた り、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決 めたり納得しながら暮らせるように支援をして いる	・洋服を選ぶ時や食事をする場所、入浴の時間等 機会があるごとに声掛けし決めていただいている	○	・更にきめ細かい気配りで、お気持ちの 表出や自己決定の支援をしていきたい
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではな く、一人ひとりのペースを大切にし、その日を どのように過ごしたいか、希望にそって支援し ている	・外出したいご利用者の同行は即時にしている ・車椅子のご利用者の「寝たい」「起きたい」も その都度何度でも支援している	○	・入浴日の決定等ご希望に添えないこと も多々あるが、臨機応変に対応し1回で も多くの満足に繋げるように支援してい きたい
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができる ように支援し、理容・美容は本人の望む店に行 けるように努めている	・更衣時の選択や普段着や外出時の服を別にする 等の支援をしている ・理・美容は職員により提供している	○	・お化粧の支援にも取り組んでいきたい
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとり の好みや力を活かしながら、利用者と職員が一 緒に準備や食事、片付けをしている	・できるご利用者にできるだけをモットーに配 膳・下膳等を一緒に行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・コーヒー通のご利用者には糖分の過剰摂取を防ぐ為「シュガーカット」（糖尿病の方）を使用し、提供。喜んでいただいている ・お芋の欲しい方にはいつでも要望にこたえられるよう煮て冷凍してある	○	・すべてのご利用者のすべてのお好みにすべて対応し、支援するのは困難だが1つでも多く支援できるよう努めていきたい
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・個別の支援ができています。終日オムツ、日中リハビリパンツで夜間だけオムツ、夜間だけ尿パット使用、あるいはポータブル使用と他種多様の支援をしている	○	・オムツ使用の時間を極力へらし、快適な排泄と環境整備の支援を更に充実していきたい
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・できるだけご希望に添うよう努めている	○	・入浴の時間帯、回数、あるいは拒否時の対応等、もっと楽しく気持ちよく入浴していただけるような支援方法を検討し、取組んでいきたい
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・室温や照明、眠前薬の使用（主治医と連携）等個別の対応をしている。また、入眠時から覚醒時まで室温調節や、照明のON・OFF等に気配りをし安眠を支援している		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・得手・不得手、好き嫌いを見極めて声を掛けながら手仕事をしていただいたり、歌っていただき笑顔の多い1日を過ごしていただけるよう支援している	○	・更に多くのできる事、したい事に気づきたくさんの笑顔になっていただけるよう支援していきたい
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・買い物には同行していただき、所持しているご利用者もあり ・買い物時のお金使用の機会は少ない	○	・ご家族のご理解とご利用者の認知症状の状態にもよるが、支援を続けていきたい


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・支援している	○ ・天候にもよるが、1日1回は全員外出（例え10分でも）できるよう取り組んでいきたい
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・ご家族との外出はあるが職員との特別外出はまだない	○ ・ご家族のご理解やご協力を得ながら、1月にお一人でも「ふるさとめぐり」のような外出に取り組んでいきたい
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・ご希望時にはすぐに対応している	○ ・手紙の交換はまだない。今後取り組んでいきたい
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・訪問の時間枠は設定してあるが、時間外に訪問があってもお通ししている ・ゆっくりと歓談していただけるよう環境整備に留意している	
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>			
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・関連の資料が職員室にあり、職員全員が周知し、取り組んでいる。	
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・夜間以外施錠はしていない	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・職員間で連携をしっかりと取り、安全に配慮している。職員が一人になる時間帯は、できるだけ全員が見通せる場所でのケアサービスに努めている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・特に食品の保管・管理に気配りをしている。ご家族の持込や、自身の買い物の食品（おやつ類が主）の賞味期限や痛み具合等のチェック、食べ過ぎによる腹痛の注意等本人立会いの下回収や整理に取り組んでいる		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・心身の状態の把握と今日の表情・言動・症状に留意し、事故防止に取り組んでいる	○	・お一人おひとりのリスクマネジメントを徹底し、全職員が一丸となって事故防止に取り組んでいきたい
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・状況に応じて個別み申し送り時を利用し訓練を行っている	○	・マニュアル作成も含め、定期的な訓練を勉強会の中を含め、取り組んでいきたい（特に新入職があった場合には早急に訓練を実施する）
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・運営推進会議で働きかけている ・火災の避難訓練はまだ行っていない	○	・3階部分の工事終了に伴って、消防署が防火設備のチェックをされるので、その時避難訓練を実施することになっている
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	・入居時のご本人の様子やサマリーからの情報等で起こりうるリスクを想定して介護計画を作成し、ご家族に説明している。また、ご家族からの情報やご意見御要望も同時に傾聴し、介護計画に盛り込んでいる	○	・想定外のリスクや時間経過の中で起こりうるリスクの想定等があるが、更に安心安全の生活支援のためご家族と連携を密にしていきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・申し送り時、記録からの情報収集、またご本人の表情、言動等に注意し変化の早期発見に努め、他職員へ情報提供する、という意識が全職員にある。早期発見、早期対応に結び付けている	
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・新入職の職員もできるだけ早く理解できるように 内服薬の一覧表を作成している ・准看護師の職員から情報得られるので、他職員の理解が早い	○ ・次第に状態は変化し、服薬内容も変化していくので、その都度確認し改めて内容を理解するように努めたい ・誤嚥に繋がる配薬ミスのないように、チェックを更に強化していきたい
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・理解している。お茶時を利用し体操、あるいは施設内散歩の支援をしている ・個別に腹部のマッサージや湯たんぽでの保温の支援をしている	
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後個別に行っている。また定期的に洗浄剤を使用している	
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事チェックを毎食行い、過不足の把握をしている。また、食欲不振時には別メニュー（バナナやお好みの食材等）で栄養補給に努めている	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	・感染予防の資料があり、マニュアルとして利用している ・インフルエンザ予防接種の義務や、肝炎、MRSAのチェック、布団干し、シーツ交換、食材の選定等に特に十分気をつけている	○ ・咳や発熱、嘔吐や下痢等の症状を早期に発見し対応することで感染を予防するよう努めていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・食材は毎日購入し、できるだけ次の日までに使いきるようにしている		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・施錠がないので出入りが自由である（出入り口は3箇所あり） ・鉢物や造花等で明るく暖かい雰囲気が出るよう工夫している ・建物の周りも木々の緑に囲まれている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・食堂は必要以上の装飾をせず、落ち着いて、他者とも程よい距離感のあるゆったりとした空間になるよう工夫している。 ・他の空間も同様だが、時折絵画の交換をして変化を楽しんでいただいている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・程よい距離感と余地があり、椅子を自由に動かして好きな向き、好きなところで過ごしておられる ・一緒に手作業をしたり、あるいは窓辺に腰掛けて外を眺めたりされ、工夫が生かされている		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・入居前や入居時の相談事項として、馴染みの物の持込をお願いしている ・ご位牌の持込やテレビ、またはお孫さんが訪問されたときに使うおもちゃの持込などあり、それぞれ個性的な部屋となっている	○	・現状の居室にご不満のある入居者への支援方法（ご家族との連携も含め）の検討が必要。それに伴い、ご本人の気持ちの傾聴も重視していきたい
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・夏場、冬場の温度設定、日中夜間の微調整、また個別（暑がり、寒がり、熱発等）の対応を行っている ・共同空間では座席により温度差、太陽光の具合が違う為、ご利用者の状況に応じてこまめに対応している	○	・おむつ交換時は窓を開けて臭いを消すようにしている。ティータイム、昼食時等食堂に集まっておられる間に居室の換気をする、等の工夫をしている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が送れる ように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随所に手すりがあり、歩行の自立や立位、排泄行為に役立っている</li> <li>・歩行器を準備し、使用してもらっている</li> </ul>	
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫している。例えば、洗濯物たたみのわかる方にはたたんでいただき、字のわかる方には読んでいただき選別し、ご自分の物、居室の場所のわかる方には持って行っていただく等、支えあいながらではあるが。</li> </ul>	○  ・まだまだ種々の場面で、職員の過介入が見られ、自立支援への工夫の必要を感じている。時間や人員の制限もあるが創意工夫をし、お一人おひとりの満足に繋げていきたい。それが職員の満足にも繋がると思われる
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の屋上は、洗濯物干しや日光浴、望遠等で楽しんでいただいているが、エレベーターで屋上に上がれないため、車椅子の方はなるべく戸外へお連れするようにしている</li> </ul>	

(  部分は外部評価との共通評価項目です )